

1. 2019年度経営指標

経営目標	連結売上高	670億円
	内、海外拠点	420億円 海外比率：63%
	連結営業利益	106億円 利益率：15.8%
	内、海外拠点	62億円 利益率：14.8%

2. 中期資本政策指標

	15年度 (実)	16年度 (実)	18年度
ROE	9.9%	10.6%	12%
連結 配当性向	13.6%	14.9%	20%

3. 中計達成のポイント

身の丈7割で生き残る体質づくりの構えを維持(国内)

地域／商品／顧客／事業の多角化の更なる推進

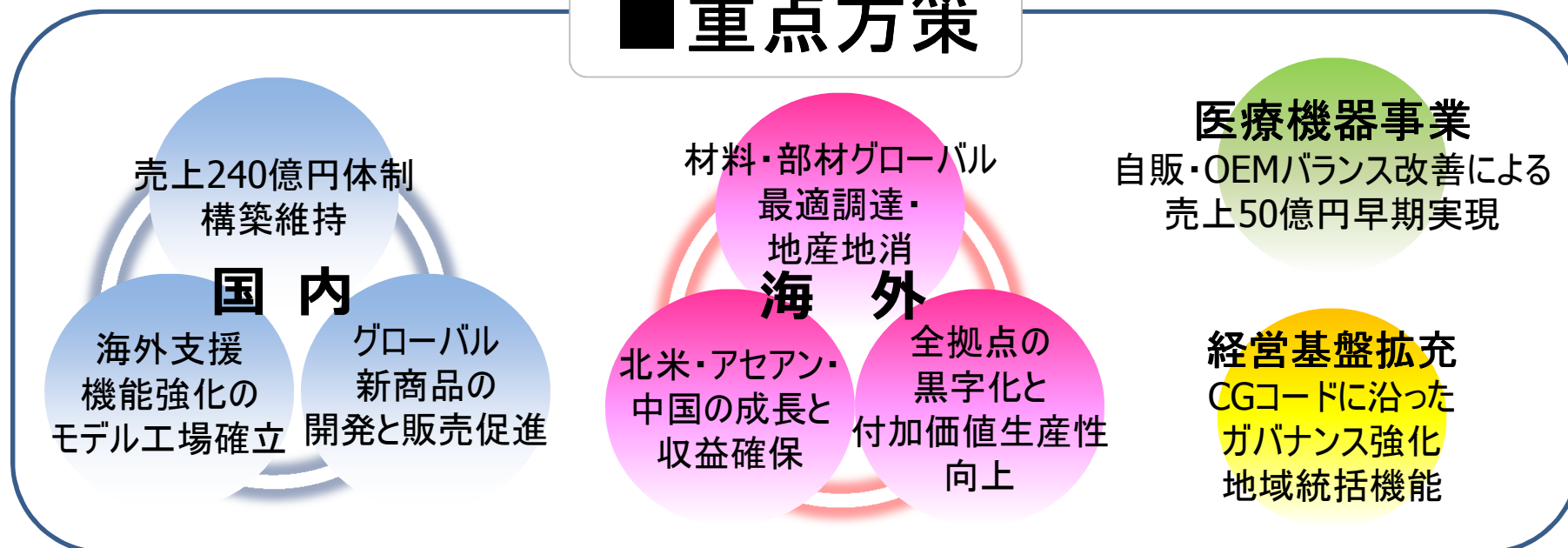
北米／中国／アセアン3極のバランス良い収益構造構築

アジア／北米と医療事業で成長を、成長事業と単体で利益を創出する

中期経営計画 要約②

■ 計 画 の 前 提	国内	好調な輸出、消費回復と設備投資による内需拡大で緩やかな成長軌道。 国内自動車生産計画は17～19年度で安定成長(900～1,000万台)。
	海外	日米欧は成熟路線、中国、インドなど新興国が全体をけん引。 不安材料としては、米国政策、欧州政情、中国経済政策、為替変動など。 自動車業界は、引き続き新興国がけん引するも、米国・中国の成長鈍化懸念あり。
	数値条件	為替 1US\$=105円 客先原低及び社内合理化は過年度実績並みで推移。 材料市況変動は顧客転嫁。

■重点方策



多角化推進戦略の目指す指標

地 域

北米／アセアン／中国／欧州 = 3 : 3 : 3 : 1

商 品

① **成長戦略商品**を海外OEM拡販につなげる

成長戦略商品 : 成熟締結商品 3 : 7 ⇒ 4 : 6へ
(燃料系・開閉機構部品) (ファスナー・駆動系・ハーネス部品)

② **将来商品群** (環境対応部品、自動化運転、安全対応部品) の構築

顧 客

海外OEM向け販売比率 15% (100億円) 目標

事 業

医療事業構成比率 6%⇒10%目標

利益処分に関する基本方針

当社は、最大より最良を目指す「質重視」の経営方針に基づいて収益力の向上、財務体質の強化を図っており、株主の皆様に対する利益配分につきましては、連結配当性向20%を中期目標とする中、安定配当の継続をベースとしつつ、業績に裏付けられた弾力的な利益還元を行うことを基本方針としております。

また、事業展開の節目には記念配当を実施し、1996年度以降は、年20円以上を安定的に配当してまいりました。